



照井 省三 議員
(平和環境市民クラブ)

総合花巻病院、空家対策について 病院移転整備に市も支援

Q ①最重要課題としている総合花巻病院の移転整備計画の検討状況や今後の見通しについて伺う。②空き店舗や空き家対策について本市の取り組み状況を伺う。

A 【市長】 ①岩手中部保健医療圏の協議の場において整備が構想されている総合花巻病院の移転について建て替えを前提として協議がなされていくものと考えている。市民生活の安定を図る観点から、病院が市の中心部になくはならず、移転構想が具体化され、経営改善を行った上で、どうしても必要となる資金については支援を行いたい。補助金の内訳は実質的な市の負担が3割となる合併特例債の活用、基金の取り崩しなどを視野に入れている。②花巻中央地区の空き家数は把握している範囲で122件であり、リノベーションまじづくりを支援し、空き店舗活用の新規創業へは、立ち上げ経費への補助制度、関係機関の経営指導を行うなどの支援を準備している。

う。②職員労働組合との十分な協議を実施しているか伺う。

A 【教育長】 ①公立保育園は法人立保育園とともに、保育はもとより、子育て支援、子育て相談、次世代育成支援や世代間交流など子どもや保護者、地域にとって重要な役割を担い、率先して保育ニーズに対応してきた。②職員労働組合とは昨年9月と本年1月、再編指針素案の説明協議を行っている。

【そのほかの質問】 新たな県立高等学校再編計画（案）について



地域にとって重要な役割を担ってきた公立保育園

公立保育園の再編は

Q ①公立保育園が果たしてきた役割をどう捉えているか伺う



大原 健 議員
(市民クラブ)

主権者教育の充実は 選挙啓発授業取り入れを依頼

Q 公職選挙法が改正され、有権者の年齢が18歳に引き下げられた。若者や児童生徒に対し、社会の一員としての自覚を促し、政治への参加意識を高めるための主権者教育の充実が重要と思われるが、本市の取り組みについて伺う。

A 【選挙管理委員会委員長】 岩手県内全ての高等学校に対し、副教材を利用した選挙啓発授業を取り入れるよう依頼し、選挙への理解と周知に取り組んでいる。また、花巻市明るい選挙推進協議会においても、選挙啓発授業の依頼をした市内の高等学校を訪問し、選挙への理解と周知を行っている。さらに、市内の小中学校に対しても、選挙啓発の内容を授業に取り入れるよう依頼しており、高等学校就学前からできるだけ選挙に対する意識啓発に取り組んでいきたいと考えている。



年間約40万人が利用しているいわて花巻空港

観光客の増加策は

Q 国では外国人観光客が増大していると考え、本市としての外国人観光客増加策について伺う。

A 【市長】 花巻空港へのチャーター便誘致や、新千歳、大阪、福岡などを経由した空港利用の促進、格安航空会社の誘致や沖縄便復活等による国内ネットワークの拡充など、岩手県を含めた関係機関との連携を図りながら、取り組んでいきたいと考えている。また、スキーリゾート観光客が見込まれる八幡平、雫石、盛岡地域との広域的な連携をさらに強めながら外国人観光客の増加につなげたい。

【そのほかの質問】 市長施政方針について、教育問題について、花巻まつりについて



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

大迫市街地への誘客施設整備は 地域と協議し活用策を決定

Q 展示活用の方によっては大迫中心市街地への誘客が期待されるエーデルワイスコレクションは条件付き寄附と認識しているが、これ以上、展示館整備事業が先延ばしとなる事態は避けるべきではないのか。仮に寄贈者の願意に添えない場合は、遺族に対してしかるべき手続きを取るべきではないか。

また、1月下旬に市に提出された「あんどん山車会館」の建設を望む要望については、延長される「新市建設計画」の中で検討されるのか伺う。

A 【市長】 これまで大迫地域中心市街地顔づくり委員会でもコレクションの一般公開を含めた検討を行うなど、活用策を見いだすための取り組みをしてきたと認識している。今後においても、大迫地域の方々の十分な協議・検討を踏まえ、できるだけ早く活用策を決定したいと考えている。

現時点においては、大迫地域の方々の中での話し合いの結果を待っているところであり、コレクション自体の経済的な価値、または魅力、コレクションが大迫地域の中心市街地の観光に資する可能性のみを鑑みた場合、大規模な展示館の新築整備は困難であるが、故



お盆を賑わすあんどんまつり

坂倉氏の大迫地域に対する思いを無駄にしないよう、できるだけ早い時期に活用策を決定したいと考えている。建設要望のあったあんどん山車会館については、現在は事業を計画していないが、新市建設計画の観光関連施策に該当する可能性があるほか、過疎地域自立促進計画の計画期間中に建設することとなった場合、計画を修正し事業に組み込むことは可能である。

あんどん山車会館がどれだけ大迫の街中に観光客を呼び込むかについては、花巻市の財政見込も含めて慎重に考える必要がある。



菅原 ゆかり 議員

総合的な子育て支援施設設置を 先進事例を参考に検討

Q 安心して子どもを産み育てる環境整備は最優先に取り組まなければならぬ課題である。妊娠・出産から総合的に切れ目なく子育てするために、子育て世代包括支援センターを設置する考えはないか伺う。

A 【市長】 本市においては助産師・保健師が生後4カ月までの乳児がいる家庭を全戸訪問し、予防接種の勧奨や育児不安の軽減に努めているほか、5カ月児から3歳児までは「乳幼児健康審査」「離乳食教育」「育児学級」において個別の育児相談も行っている。国が子育て世代包括支援センターの全国展開を目指していることを踏まえ、既に産前産後サポート事業を取り入れている自治体の事例や民間の力を借りることも視野に入れながら今後検討していく。



介護ニーズへの対応を

介護の現状について

Q 認知症や医療ニーズを併せ持つ要介護高齢者の増大が見込まれるが、①介護人材は充足しているか伺う。②地域における介護への理解関心を高める取り組みを伺う。③関係機関との連携推進は。

A 【市長】 ①本市には150カ所を超える介護事業所と特別養護老人ホームをはじめとする38カ所の入所施設があるが、全ての施設において職員は充足されている。②地域のニーズに合わせて、NPO、民間事業所、住民ボランティア等の協力のもと、介護予防・日常生活支援総合事業を実施していく。③市が開催している介護保険運営協議会や、花巻市ケアサービス事業所連絡協議会などに、市職員や各事業所が同席することで連携を図っている。

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問